

簡単！「小テスト」を作成・活用してみませんか③

～小学校の小テスト（思考力・判断力）～

前回は、「観察・資料活用の技能」を評価するアウトライン型式の解答欄を設けた小テストを紹介しました。今回は、「思考力・判断力」を評価する小テストの作成例を紹介します。

〈解答欄をアウトライン型式にした「小テスト」例〉

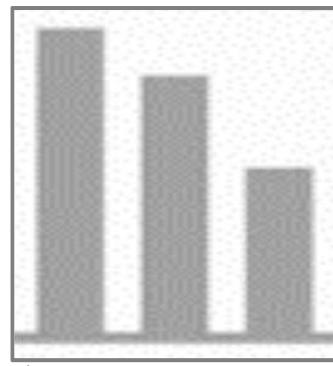
小学5年「これからの食料生産」における思考力・判断力を評価する小テストの例です。

〔問題〕 あなたは、あつしさんの考えに賛成ですか、反対ですか。
賛成か反対か立場を決めて、その理由を五つ以内で書きましょう。



あつしさん

農業で働く人の数が減っているけれど、日本は外国から食料品を多く輸入できるから心配はいらないよ。



↑ 農業で働く人数の変化

(※グラフはイメージ)

〔解答らん〕

わたしは、あつしさんの考えに () です。

第1に()

第2に()

第3に()

第4に()

第5に()

以上の理由から、わたしは、あつしさんの考えに () です。

このテストの解答欄は、次のアウトラインの型で作成されています。

【結論】 「わたしは、～に（賛成・反対）です。」

【理由】 「第1に、～だからです。」

「第2に、～だからです。」

【まとめ】 「以上の理由から、わたしは～に（賛成・反対）です。」

思考力・判断力を記述式のテストで評価するには、子どもの側に、ある程度の「書く技能」が身に付いていることが前提となります。そこで、解答欄をアウトライン型式にすることで、どの子どもも、自分の考えを記述しやすくなります。また、解答の「書き方」を学ぶことになり、「書く技能」を高めることにつながります。